

やまぐち健康マイレージ事業 幸せます！みんなで健やかチャレンジ

ケンシン受診と健康づくりにチャレンジし、
健康ポイントを貯めたら、健康とお得を手に入れることができます！



健康やまぐちサポートステーション

検索

「幸せます！みんなで健やかチャレンジ」は山口県との協働事業です。

協力店で「やまぐち健康づくり応援カード」を提示するとさまざまなサービスと特典が受けられます。

協力店やサービス内容は、ホームページでもご覧になれます。



詳しくはこちら！
申請用のチャレンジシートは
こちらからダウンロードできます。

市民一人ひとりが、健康づくりを継続的に取り組んでいけるよう「健やかほうふ21計画（第二次）」を策定しています。

＜基本理念＞ みんなでつながり思いやる 健やかなまち「ほうふ」

＜各分野の目標＞

(1)栄養・食育

- 目標 ①栄養バランスに気をつけよう
目標 ②食への感謝を次の世代へつなげよう

(2)歯と口の健康

- 目標 歯の検診を定期的に受けよう

(3)身体活動・運動

- 目標 いつでもどこでも体を動かそう

(4)日頃の健康管理

- 目標 声をかけ合ってケンシンを受けよう

(5)喫煙

- 目標 将来たばこを吸わない若者を育てよう

(6)こころの健康

- 目標 ①安心して子育てができるように
応援しよう
目標 ②お互いに思いやりこころの健康を
守ろう

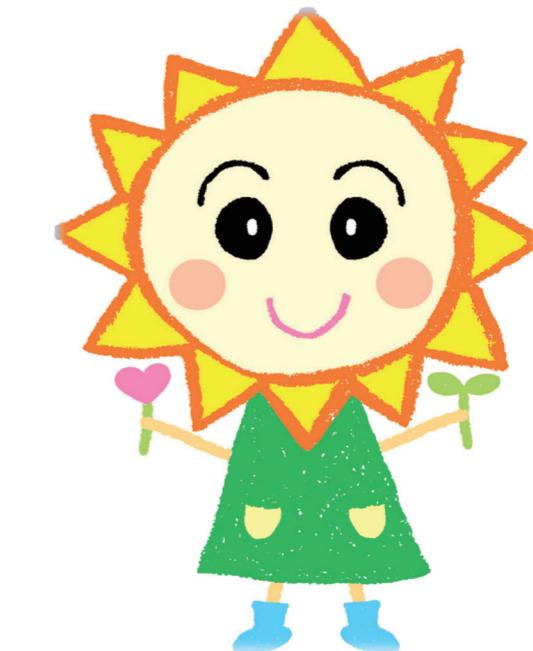
(7)地域のつながり
目標
世代を超えて交流を深めていく

問い合わせ先：防府市保健センター
<平日>8:15～17:00
TEL(0835) 24-2161
FAX(0835) 25-4963

みんなでつながり思いやる
健やかなまちほうふ

それぞれの夢や目標の
達成のため

あなたに伝えたい！
自分流健康づくり6つのススメ



防府市健康づくりキャラクター

すにやかにこサン

～健康寿命をのばそう～
若いうちから「健康づくり」に取り組む
きっかけに！

健やかほうふ21計画（第二次）推進委員会 作成

令和5年度



あなたに伝えたい！自分流健康づくり 6つのススメ

栄養・食育

主食・主菜・副菜のそろった食事をしよう

主食・主菜・副菜がそろった食事を1日2回以上食べている人の割合は、特に20~40歳代が、他の世代と比べて低くなっています。

からだに必要な栄養素をバランスよくとる秘訣は主食・主菜・副菜を組み合わせて食べることです。

★レッツ チャレンジ！★

- ・1日3食食べよう！
- ・いつもの食事に副菜（野菜料理）を一品追加しよう！
- ・外食・惣菜でも意識して野菜を選ぼう！

【簡単野菜レシピ】
簡単に作れる野菜料理を紹介！



日頃の健康管理

自分の健康に关心を持ちケンシンを受けよう

市民の約半数の人が、がん検診を受けていません。



症状が出る前のがんである「早期がん」を発見し、早期治療することで9割が治ると言われています。

★レッツ チャレンジ！★

- ・20歳になったら子宮頸がん検診、40歳になったら5つのがん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮頸部）を受けよう！
- ・家族や友人にも、ケンシンの大切さを伝え、一緒にケンシンを受けよう！

【幸せますケンシン】
がん検診についての情報はこちらから！



歯と口の健康

歯科検診を定期的に受けよう

過去1年間に歯科検診を受診した人の割合は、特に20~30歳代が3~4割と、他の世代と比べて低くなっています。



歯石がたまると、歯周病になり、悪化すると歯が抜けてしまいます。生活習慣病のリスクも上がります。

★レッツ チャレンジ！★

- ・無料歯科検診の機会を活用しよう！
<6月4~10日、11月8~14日>
- ・かかりつけ医を決めて、定期的な検診をして歯石の除去等のメンテナンスをしよう！

【防府歯科医師会】
無料歯科検診について掲載！



喫煙

周りの人へ タバコの害や禁煙の大切さを伝えよう

タバコを吸っている人の割合は、20~30歳代男性が4~5割と、他の世代と比べて高くなっています。



喫煙により、喫煙者とその周辺の大切な人も、がんやCOPD（慢性閉塞性肺疾患）等の病気のリスクが高くなります。

親の喫煙率が高いと、子どもの将来の喫煙率も上がります。

★レッツ チャレンジ！★

- ・禁煙外来の受診や、周りの協力を得ながら禁煙に取り組みましょう！
- ・子どもにタバコを吸う姿を見せないようにしましょう！

【政府インターネットテレビ】
「たばこの煙の恐ろしさ」動画配信中！



吹き出しの中は、防府市の現状です！

～令和元年度健やかほうふ21計画(第二次)

中間評価のためのアンケートより～



身体活動・運動

生活の中で意識して体を動かそう

日常生活において、健康の維持増進のために、いつも意識的に体を動かす人が、30~40歳代の女性では、15~20人に1人しかいません。



ふだんから身体を動かすことで、生活習慣病、うつ、認知症などになるリスクを下げることができます。

★レッツ チャレンジ！★

【やまぐち健幸アプリ】
歩数計としても使えます！

- ・毎日プラス10分、今より体を動かそう。
ちなみに… プラス10分⇒歩数1000歩
- ・階段を使おう！
- ・駐車場では遠くに停めよう！
- ・親子で体を使って遊ぼう！



こころの健康

自分に合った ストレス対応方法をみつけよう

自分なりのストレス解消方法を持っている人の割合は、30~40歳代女性が他の世代と比べて低くなっています。



「自分のできる範囲で自分の面倒を見ること」
＝セルフケア

セルフケアは、早めに実践すると、さらに効果UP！

★レッツ チャレンジ！★

【悩みごと相談窓口一覧】
悩みを抱えずに！

- ・体を動かす、今の気持ちを書いてみる、腹式呼吸をくりかえす、ゆっくり湯船につかるなど
- ・相談できる人や場所を持つとう！



みんなに伝えていこう！

